

毎月1日・10日・20日発行

発行所 本願寺新報社

京都市下京区堀川通花屋町下ル 浄土真宗本願寺派(西本願寺)  
〒600-8501 本願寺出版社内

電話 075(371)4171(代) / FAX075(341)7753

people

ひと

いわむろ しんや  
岩室 紳也 さんシンポジウム「若者」で  
講演した医師

「若者たちに一番伝えたいのは、とにかく人と喋れ！友達作って居場所をいっぱい作れ」。神奈川県・厚木市立病院の泌尿器科医の傍ら、テレビや講演会などで思春期の性と心を語る。

若いエイズ患者たちの診療をきっかけに「なぜこの人たちは感染するのか」と疑問を持つと、背景には人の関係性の希薄さも見えてきた。「正しい性知識があっても、人とのつながりやコミュニケーション、交わりやストレスを通して、知識を生きる力に転換できなければ、問題は防げない」と分析する。

「できる人ができることを」とコンドーム柄のネクタイで活動する。「これ、話のきっかけになるからね」と笑う。「一人ひとりが関心をもってくれれば」と「コンドームの達人」と名乗り投稿したYouTube動画の再生回数は570万回超。ホームページは「コンドームの達人」で検索。60歳。(2面に記事)

# 本願寺新報

## hongwanji journal

### 築地本願寺 若者の性と性考えるシンポジウム

ターを務めた。

重い話題のシンポジウムにもかかわらず、

築地本願寺で9月30日、宗派主催のシンポジウム「イマドキ思春期の悩みとモヤモヤ」が聴講された。350人が開催され、350人が聴講された。イマドキの若者が抱える心と性の問題を考えていこうと、6月に

「イマドキの若者が抱える心と性の問題を考えていこうと、6月に

本願寺派僧侶で思春期学会理事の古川潤と話しした。

紳也さん、精神科医で哉さんがコーディネーターを務めた。

(8面に関連記事)